

日本体育大学大学院教育学研究科博士学位論文 評価基準

1. 審査体制

①博士論文の審査員の構成は、研究指導教員を主査とし、副査を2名以上、計3名以上とする。

②副査のうち一名は主査とは異なる分野の教員から選出するものとする。

2. 評価基準

獲得する資質・能力

論文の評価にあたっては海外の研究動向も踏まえて、学術的に価値ある課題を見いだし、その課題を学術的に追究していくことから、問題を見いだす能力や研究を論理的に展開する能力の育成を目指す。

- ① 海外の研究動向も踏まえて、代表的な著書や論文、資料などを適切に活用し、客観的かつ学術的に価値の課題を見つけ、それを研究課題としているか。
- ② 学術的な著書や論文、資料などを妥当性など視点から分析、検討しているか。
- ③ 研究目的に照らして適切な文献や資料、実証的なデータを収集し、信頼性や妥当性などの視点から処理しているか。
- ④ 結果や結論を導出する過程や、導出した結果が設定した研究課題や目的と整合しているか。また、その導出過程の連関が妥当であるか。
- ⑤ 結果や結論を導出する過程が、客観的で、かつ、それらが学術上の価値があるか。
- ⑥ 参考にした文献などが学術的な表記になっているか。